



☆☆☆ 学びの羅針盤 ☆☆☆

Learning Compass

きたえ ふれあう 富沢っ子

子どもたちを笑顔で迎え 笑顔にさせ
家庭・地域に帰します！



◇教育目標:夢をもち 未来を拓く子ども

◇重点目標:人・社会・未来とつながるWell-being2023 ~学び・教え合う、認め・高め合う子どもの育成~

富沢小学校のおいしい給食「いただきます」「ごちそうさまでした」

校長 大野 昌広

私の教員としての出発地は日高管内えりも町立えりも中学校でした。えりも町はご存じの通り、昆布や秋鮭、カニなどの豊かな水産資源と襟裳岬を代表する雄大な自然景観の町。当時のえりも中学校は約300人位の生徒数でした。当時のえりも町の小中学校は給食がありませんでした。生徒も先生方も弁当持参。ところが、夏の昆布漁(午前2時頃からはじまる)になると一部の家庭では弁当を作る時間がなく、子供にお金を持たせるといふふうになっていました。学級担任は生徒の昼食(ほとんど菓子パン)をスーパーまで買いに行くというのが毎日の悪しき習慣。多いときで1クラス4~5人分。1学年3クラスの学校でしたから午前11時頃の町内唯一のスーパーは先生方で混み合います。私自身も弁当を作らなければならず、とても負担でした。弁当に入れるおかずがなくなったときにやむなくウインナーだけを7本ほど入れて体裁を整えてやりすごしたりしていました。こんな生活が8年間続きました。2校目の学校は浦河町。給食のある町でした。ここの給食の特徴は毎食昆布関連の食材が出されることでした。細切り昆布のサラダなどがよく出されていました。特に印象に残ったのが《昆布パン》。パン生地昆布の粉末を練り込んでつくられた深緑色の磯風味のコッペパン。地産地消を目指したものであったのですが、ザラザラと舌触りが悪くとてもおいしいとはいえません。当時、25人の学級を受け持っていました。25個のパンが余りました。浦河町学校給食センターは、私が浦河町で勤務していた4年間に計4回修正し、《昆布パン4号》という名称で提供しました。

学校給食の始まりは、1889年(明治22年)。山形県鶴岡町(現・鶴岡市)の大督寺境内にあった私立忠愛小学校だそうです。生活が苦しい家庭の児童を対象に無料で学校給食を実施したことが起源と言われています。この学校給食初となる献立は、おにぎり、焼き魚(塩サケ)、菜の漬物。この私立忠愛小学校は、鶴岡町の寺院の各住職が、宗派を超えて行なった寄付によって設立された学校。その後、学校は火事で焼失しましたが、学校設立時の意思を継ぎ、忠愛協会を設立。寄付金や浄財をもとに昭和20年まで弁当や給食費の支給が継続され、学校給食の礎となりました。1959年(昭和34年)には学校給食70周年記念式典が開催され、大督寺境内には「学校給食発祥の地」の記念碑が設立されています。

本校の給食は、栄養教諭の中村先生(神楽岡小学校)と本校の給食担当の早勢先生、そして、調理指導員の稲澤さんの3名が密接に連絡を取り合いながら献立を作っています。特に、稲澤さんは毎日児童分と教職員分をたった一人で作っています。私が本校の給食で大変驚いたのは、稲澤さんの調理法でした。例えば、6月23日(金)の給食は、《食パン、コーンスープ、とんかつ、温野菜(ソース和え)、牛乳》。私は、食パンに温野菜ととんかつをはさめて、サンドイッチにして食べました。食後、サクサクとしていぶんおいしいとんかつだなんて思い、「今日のとんかつ、とてもおいしかったですね」って稲澤さんに感想を言うと、栄養教諭の中村先生にお願いし、「食パンと豚生肉」を仕入れ、食パンからパン粉を作り、一枚一枚丁寧に揚げているという返答。他の多くの学校が、冷凍食品を使用している中、本校は、稲澤さんの手作りのとんかつです。

先日、旭川市教育委員会学校保健課から「令和4年度学校給食残食率調査の実施結果」が通知されました。それによると、令和4年度の給食全体の残食率は、小学校が11.8%(令和3年度10.3%)、中学校が20.9%(令和3年度19.8%)。全体として、残食率が増加しており、小学校より中学校が高いという結果でした。本校は海鮮系のおかずの時に少し残ることがありますが、残食率はほぼ0%です。旭川市内の給食のおかず等の中で一番残食率の低いのが小学校、中学校とも《梨》(小:0.7%、中:0.9%)、高いのは、小学校、中学校とも《きくらげと根菜の炒め煮》(小:29.4%、中:42.0%)。9月21日(金)にこのメニューが提供されましたが、本校は残食率0%でした。小学校で残食率が低い献立は、果物や餃子、焼売等の蒸し物が多く、高い献立は、野菜が多く使用された料理だそうです。ちなみに、とんかつ等の揚げ物は、小学校、中学校とも低い残食率です。

「いただきます」は、「いただく」という謙譲語から派生しました。食事に携わってくれた方々への感謝の気持ちを表しています。また、食材への感謝も込められています。「ごちそうさま」は、漢字で書くと「御馳走様」。昔は冷蔵庫もスーパーもありませんから、食材を揃えるのは大変なことでした。「馳走」は走りまわるという意味で、食事を出してもてなすために走り回る様子をあらわしています。やがて、丁寧語の「御」をつけた「御馳走」にてもてなすという意味が含まれるようになり、贅沢な料理をさすようにもなりました。そして、いろいろと大変な思いをして食事を準備してくれた方への感謝を込めて「様」がつき、食事のあとに「御馳走様」「御馳走様でした」と挨拶するようになったそうです。

季節は猛暑の夏から、実りの秋へうつろい、紅葉色に染まる秋を迎えています。富沢っ子は今日も給食に携わってくれているすべての方々と食材への感謝の気持ちを込め、手を合わせて、「いただきます」「ごちそうさまでした」。

教育実習

9月6日(水)北海道教育大学旭川校から教育実習の先生が来校しました。

一緒に給食を食べたり、一輪車の練習をしたりしました。

「富沢っこの活動を見て、教員になる気持ちを強くした」と話している方もいました。



稲刈り！！



9月21日(木)稲刈りをしました。

今年からはバケツ稲。縦割り班の活動です。稲刈り後は、班ごとの収穫量比べを予定しています。

後期児童会

9月12日(火) 児童会選挙

9月25日(月) 認証式

9月27日(水) 児童総会



富沢小学校の児童会活動はとても活発。子どもたちのアイデアを生かした児童会活動を支えていきたいと思ひます。

マラソン記録会

9月22日(金)マラソン記録会を行いました。

自分のペースで走りきった子どもたち。満足な笑顔の子どもたちです。応援、ありがとうございました。



安全第一

9月12日(火)雷の対応の仕方



確かに10年前と比べて地球の様子が変わってきています。

子どもたちにはその場に応じて、安全な生活をする事ができる力を身につけてほしいと思っています。

9月6日(水)シェイクアウト訓練(地震への対応)

- ①「Drop (まず姿勢を低く)」
- ②「Cover (頭を守り)」
- ③「Hold on (動かない)」



秋の野山

9月28日(木)秋の野山が行われました。

富沢の自然を大切に、環境保全に向けて自分たちができることを考える機会になります。



どんぐり笛づくり

葉で作るオーナメント

10月の予定

9日(月) スポーツの日

11日(火) 旭川市教育研究会(臨時休業)

12日(木)・13日(金)

視力検査

12日(木) クラブ

13日(金) ALT来校 実行委員会

16日(月) 実行委員会

18日(水) 学芸会総練習

21日(土) 学芸会

24日(火) 諸費納入日

26日(木) 委員会

30日(月) クリーンデー

9月に入ってから、全体で挨拶する場面では、挨拶の言葉を言ってからお辞儀をするように指導しています。相手の顔を見ながら挨拶することで、より心のこもったコミュニケーションができると考えています。場面に応じた礼儀作法は大人でも難しいものですが、相手のことを思う心を忘れず、広い世界へ飛び立つ準備をしていきます。